



チーム 新課程 学年主任

Supported by
ベネッセ文教総研

9月

10月

のポイント

本コーナーはハイスクールオンラインの〈先生SNS〉のコーナーと連動しています。〈先生SNS〉では詳細の情報・資料をご提供しています。また、先生方が直面される課題やその解決方法の共有の場としてもぜひご利用ください。

ハイスクールオンライン 〈先生SNS〉

<https://teacher.benesse.ne.jp/>



※ハイスクールオンラインのIDをお持ちでない先生は、校内でご確認いただくか、WEBサポートデスク0120-350124までご連絡ください。

【受付時間】
月～金8:00～18:00 / 土8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

ここからお入りください

ほかの先生に相談したい時は⇒**相談室**へ
使える資料で負担軽減⇒**資料室**へ



生活リズムの確立と文理選択への意識づけを図る

夏季休業明けは、1学年団の先生方にとって、最も生徒の様子が気になる時期ではないでしょうか。学校によっては、夏季休業明けすぐに文化祭や体育祭があるため、比較的ゆったり過ごした夏季休業から、生徒の生活は一変して慌ただしくなります。そして、秋には進路指導の山場の1つである「文理選択・科目選択」が控えています。

夏季休業明けに大切なのは、生徒に1学期の生活リズムを取り戻させることです。そのため、学習・生活記録などを通じて、家庭学習の習慣の確立に改めて取り組ませている先生も少なくありません。また、新教育課程においても、2学期以降、高校の授業は1学期と比べて進度が速くなり、内容も高度化します。2学期以降、生徒に苦手科目が生まれやすいことを考慮すると、学習習慣

の確立は極めて重要だと言えます。

新課程1期生における文理選択・科目選択ですから、大学入試の動向も気になるところです。しかし、新課程入試の入試科目を発表している大学は、現段階では少数です。そんな中で、文理選択において、「総合的な探究の時間」と関連つけて選択に臨ませる指導も見られます。課題の選択や設定の背景にある生徒の思いを聞きながら、大学で学びたいことなどを考えさせ、文理選択へとつなげるのです。同時に、総合型選抜や学校推薦型選抜への意識づけも行っていくことができるでしょう。

2学期の始まりである、9月・10月は、特に次の2点について学年全体、必要に応じて個別の生徒への対応をご検討ください。

●夏休み、行事からの切り替え

9・10月のチェックポイント

数か月先を見通した新課程初年度学年ならではのポイントです。詳細はハイスクールオンライン〈先生SNS〉をご覧ください。

10月

9月

テーマ

コンテンツ例

□ 夏季休業からの切り替え

- 生活習慣・学習習慣が崩れた生徒のケア
- 「スタディーサポート」1年2回を活用した、生徒の状況確認

□ 文理選択・科目選択に向けた、入試情報の確認

- 新課程入試の動きの確認
- 大学の研究内容の確認
- 各大学の総合型・学校推薦型選抜の情報の収集と対応計画の立案

□ 行事を通して生徒の成長を支援

- 行事を通して学校の求心力を高める
- 中間審査を利用した、学習への気持ちの切り替え

□ 次年度以降の教育課程の検討

- 新課程入試科目を踏まえて自学年の2・3年次及び次の学年以降の教育課程の見直し

□ 11月「ベネッセ総合学力テスト」に向けた指導

- 基礎学力の定着と、読解力・記述力育成につながる学習法の指導

チームの仲間へmessage

細かな見取りと新たな価値の創造を 可能にする学校文化の醸成



藤田奈美

広島県立呉三津田高校 1学年主任

1 年生が入学して3か月が経ち、早くも1学期の終わりが見えてきました。

中学校生活の大半をコロナ禍で過ごした生徒が入学してくるということに加え、本校では40人の定員増もあり、新入生の様子が気になりな中、4月を迎えました。そのような状況で、1学年団では、入学前の中高連携、担任面談、授業や部活動での観察などを通し、学力面と子どもたちの様子などの見取りを重ねてきました。

本校では、生徒の様子は職員室の中で常に情報共有されており、全教職員で全生徒を見取るという風土があります。また、中学校生活から高校生活へのスムーズな移行を目指し、本年度からは、1か月をかけて徐々に学校生活や高校の授業に慣れるようにしたことや、2年生によるチューター活動、積極的なカウンセリングの実施など、新たな試みを、各教科・分掌・他学年の協力により、実施しているところです。様々な負担がかかる中、生徒にかかわってくださる先生方には、感謝しかありません。

学年や分掌を超えた細かな見取りや新たな取り組みが行えるこの土壌は、転勤された先生方を含め、教職員団により醸成されてきた本校の強みだと、学年主任になって改めて実感しています。社会のニーズが多様化する中で、私たち教職員も新たな価値を創造しなければなりませんし、それはともに働く教職員がお互いを尊重し、個としてもチームとしても働ける環境があることで可能になると考えます。1学年主任として、この学年の生徒をどう育てるかを考えることはもちろんですが、生徒のためにも、働く場としての学校文化の醸成に、微力ながら尽力していきたいと考えています。

「1年2回」をご受験予定である場合は、1年1回から2回にかけての生徒個別の変化を特にご確認ください。着目ポイントとして、集団の変化は、「学力×学習バランス」「学習の4要素のレベル」「学習時間」「学校生活振り返り」などを確認ください。

●行事を通して生徒の成長を支援
生徒自身が行事に積極的に取り組むことは、自分のよさや強みを見つめるきっかけとなります。その体験が学習意欲にも結びつくよう、行事を通じて生徒の成長を支援していただけるとよいかと思えます。

第2回「チーム新課程学年主任ウェブセミナー」

(7月22日実施)

アーカイブ配信のご案内

7月22日(金)には、第2回となる1学年主任の先生対象のウェブセミナーを実施しました。「新課程1期生の1学期の姿を可視化し、2学期以降の学年運営の工夫に生かす」というテーマで、ウェブセミナーを実施しました。ベネッセ文教総研からは、2021・22年度のスタディーサポートの全国データを分析し、学力と学習全般において、差異がある点を抽出し、新課程1期生の特徴や課題をお伝えしました。また、それらに向き合い、実践されている高校の先生にご発表もいただきました。

セミナーの内容

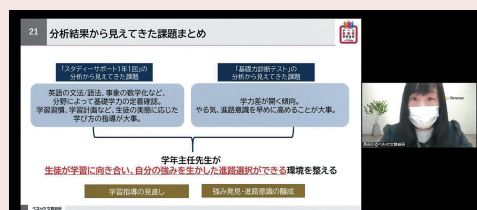
- 1 「スタディーサポート」「基礎力診断テスト」の全体傾向から見る新課程生の姿
- 2 実践事例発表：広島県立呉三津田高校
「入学当初からの生徒の見取りと学年団での対応」
- 3 実践事例発表：長崎県立諫早高校
「探究をいかしたキャリア検討会」
- 4 生徒の成長を促す学年運営の振り返り：授業デザイン研究所

◎本ウェブセミナーのアーカイブ動画は、ハイスクールオンラインで視聴できます。

ウェブセミナーをご視聴、講演資料をダウンロードいただけます。ぜひ、ご覧ください。
『ハイスクールオンライン』トップページ > 指導「新課程」> 指導と学習評価 より、ご覧ください。

<https://benesse-hs.jp/ub57a>

※ログインには、ハイスクールオンラインのIDが必要です。



「スタディーサポート」「基礎力診断テスト」の全体傾向から新課程生の姿を分析